

# 日本史B

## 2022年度共通テスト本試験について

- 大問数は6題、小問数は32問であり、いずれも初回の共通テストと同数でした。
- 初回の共通テスト同様、出題された史料は、ほとんどの受験生にとって見慣れないものでした。全体で12点の史料が用いられ、初回の共通テスト(第1日程)の5点から大幅に増加しました。
- 全体的な難易度は標準的でしたが、資・史料の読み取りや選択肢の慎重な吟味を要する問題が散見され、苦戦した受験生も多かったでしょう。

## 過去3回の出題内容

難易度 A: やや易 B: 標準 C: やや難

大問	2022年度本試験		2021年度本試験第1日程		2021年度本試験第2日程	
	出題内容	難易度	出題内容	難易度	出題内容	難易度
1	人名から見た日本の歴史	B	貨幣の歴史	B	古代～近代の女性史	B
2	法整備と遣隋使・遣唐使	B	日本における文字使用の歴史	B	「意見封事十二箇条」	B
3	中世の海と人々の関わり	B	中世の都市と地方との関係	B	鎌倉幕府の成立／南北朝の動乱	B
4	近世の身分と社会	B	近世社会の儀式・儀礼	B	田沼時代	B
5	日本とハワイの歴史	C	景山英子と女性解放運動	B	井上馨と渋沢栄一	B
6	鉄道の歴史	B	農地改革	B	近・現代の食文化・食生活	B

## パワーマックス 日本史B 出題一覧

新: 新規収録 / 難易度 A: やや易 B: 標準 C: やや難

第1回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	新 様々な時代区分	9分	B
2	新 古代の仏教文化	10分	B
3	新 中世の武士団と社会	11分	B
4	新 江戸時代の産業	9分	B
5	新 近代国家の成立と展開	10分	B
6	新 昭和期の外交・社会・経済	11分	B

第2回				第3回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	出版と交通の歴史	10分	B	1	日本の世界文化遺産	8分	B
2	古代の土地制度	9分	B	2	原始・古代の社会・政治	12分	B
3	中世の東アジア交渉史	10分	B	3	中世の政治・外交	11分	B
4	江戸幕府と天皇	9分	B	4	近世の政治・社会・経済・文化	10分	B
5	近代の政治・社会	10分	B	5	明治期の外交	5分	A
6	近・現代の社会・経済・外交	12分	B	6	大正～昭和期の政治・社会・経済	14分	C

第4回				第5回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	古代～近世の政治権力／近世～近・現代の鉱業	13分	B	1	日本史における中央と地方の関係	11分	B
2	古代の社会・外交・政治	13分	C	2	古代の政治・外交	10分	C
3	中世～近世初期の政治・文化	6分	B	3	中世の政治・文化	9分	B
4	近世の政治・社会	12分	B	4	近世の政治・経済・文化	10分	B
5	近代の金融制度	5分	A	5	近代の農民運動	5分	A
6	近・現代の情報と社会	11分	B	6	近・現代の政治・社会・経済	15分	B

## パワーマックスについて

### 編集方針

- 共通テスト本試験や試行調査を踏まえた形式・難易度のZ会オリジナル模試を5回分収録
- 共通テスト本試験に即して、知識を確認する問題から知識の活用や史・資料の読み取りを求める問題、論理的思考を要する問題まで、様々な観点から知識・理解をはかる問題を各回で出題

### 書籍の特徴

- 出題形式の変化に対応できるよう、過去2回の試行調査や今回と初回の共通テストの出題形式だけにとらわれず様々な形式の問題を出題しています。
- 文献史料・統計資料・地図・図版など多様な資料の読み取りを必要とする問題を多数出題しています。
- また、受験生にとって初見となる資料を用いた問題を収録しており、資料から得られる情報と知識を結びつけて考察する力を養うことができます。